

2. 資料：企画詳細・アンケート結果

学びの杜・学術コース

<企画概要>

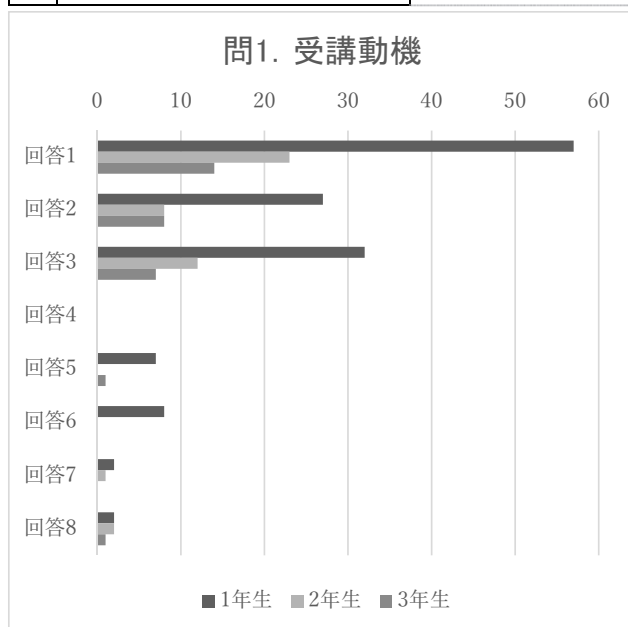
「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心とする研究者たちが、各学問領域における物の見方・考え方やこれまでの研究成果をわかりやすく解説する講座として、例年すべての高校生を対象に開講されている。受講者には、大学レベルの高度な「学び」を体験することで、知の探究のたのしさや厳しさにふれるとともに、自分自身の興味や関心について深く考え、進学や将来のキャリアデザインにつなげることが期待される。

2020年度の「学びの杜」は新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小し、大部分をオンラインで実施した。開講数を減らしたため、従来のようなコース分けはせず、複数領域にわたる11の講座から生徒が関心のあるものを選択して受講できるようにした。

<事前アンケート>

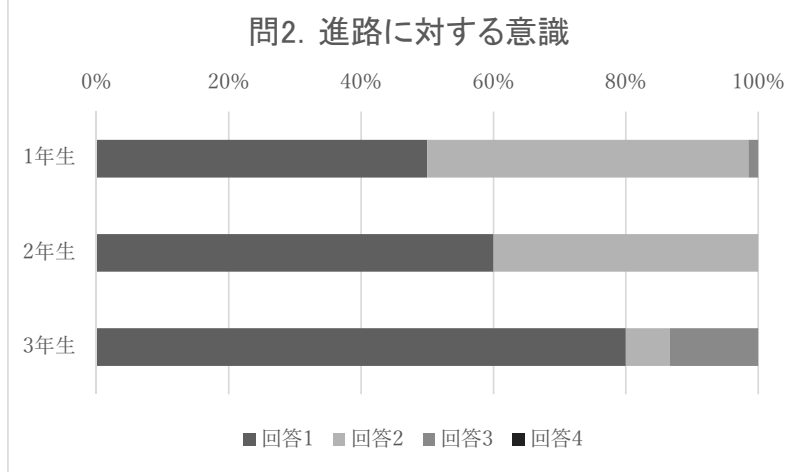
事前アンケートの結果は以下の通りであった。回答したのは1年生68名、2年生25名、3年生15名であった。一部の質問については十分な数の回答を得られなかったため、結果を掲載していない。

【受講動機について】 ●この講座を受講しようと思った動機は何ですか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号をすべて○で囲んでください。	
問1	1. 講座の内容に興味・関心があるから
	2. 大学での専門的な学びを体験したいから
	3. 将来の進路選択の参考にしたいから
	4. 先生に勧められたから
	5. 家族に勧められたから
	6. 友達に参加するから
	7. AO入試、推薦入試に役立つから
	8. その他 ()



全学年に共通するのは「講座内容に対する興味関心（回答1）」が主な動機になっていることであつた。他者の影響（回答3・4・5）を動機とする回答は少なく、特に教師からの勧め（回答4）と答えた生徒はいなかつた。「友達が参加するから（回答6）」と答えたのは1年生のみであつた。

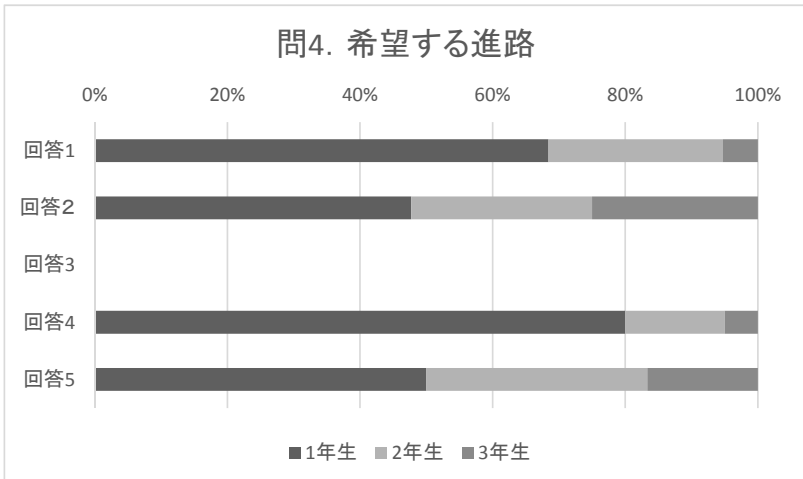
問 2	【進路について】 ●あなたは、自分の将来について考えますか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ○で囲んでください。			
	1. よく考える	2. 時々考える	3. あまり考えない	4. 全く考えない



問 3	●現在、自分の将来についてどのようなことを考えていますか。学びたいこと、就きたい職業について自由に書いてください。	
	【学びたいこと】	【就きたい職業】

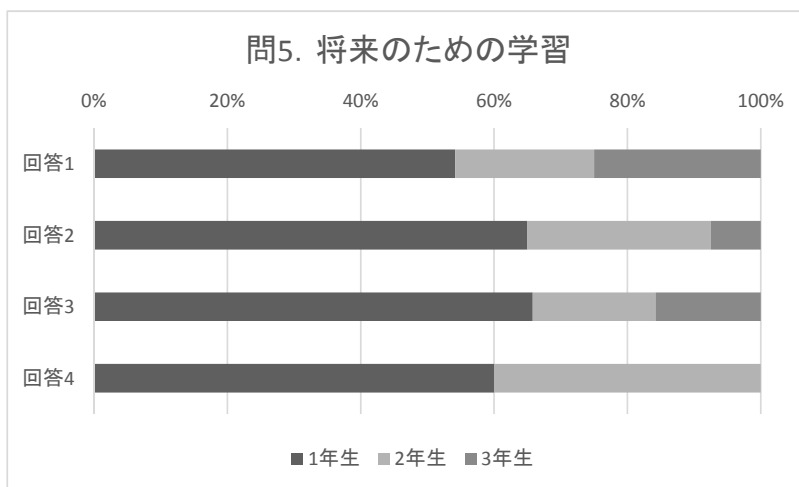
※回答数が不十分だったため結果は非掲載

問 4	●高校卒業後はどのような進路を希望していますか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ○で囲んでください。	
	1. 名古屋大学	4. まだ決めていない
	2. 名古屋大学以外の4年制大学	5. その他 ()
	3. 短期大学・専門学校	



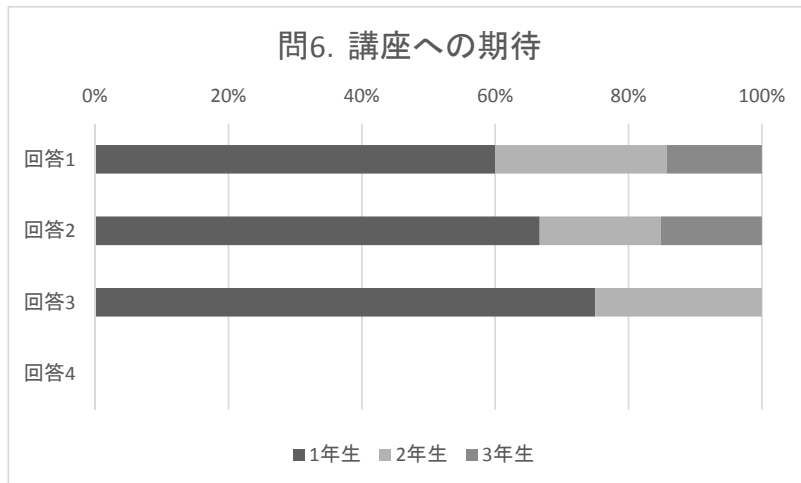
1年生の回答で「名古屋大学（回答1）」が多いことを考えると、名古屋大学の紹介として「学びの杜」が一定の役割を果たしていると考えられる。一方で、「名古屋大学以外の4年制大学（回答2）」と明確に名大以外を検討している生徒たちも受講していることから、オープンキャンパスに参加するときのように下見の意味合いで受講するだけでなく、講座内容に魅力を感じて参加した可能性が示唆される。

問 5	●あなたは、自分の将来のために、何か具体的な体験や学習に取り組んでいますか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ○で囲んでください。また、取り組んでいることがあれば書いてください。			
	1. よく取り組んでいる	2. 時々取り組んでいる	3. あまり取り組んでいない	4. 全く取り組んでいない
	【取り組んでいること】			



「あまり取り組んでいない（回答3）」という回答も多く、自身の日常的な取り組みに対する自己評価の低い生徒も参加していることがわかった。積極性のあまり低い生徒にとっても選びやすいプログラムになっている可能性が示唆される。自由記述欄には読書や語学、習い事、日常の学習などを挙げる生徒が多かった。

問 6	●あなたは、この講座を受講することについて、現在、どのような気持ちですか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ○で囲んでください。			
	1. とても期待している	2. やや期待している	3. あまり期待していない	4. 全く期待していない

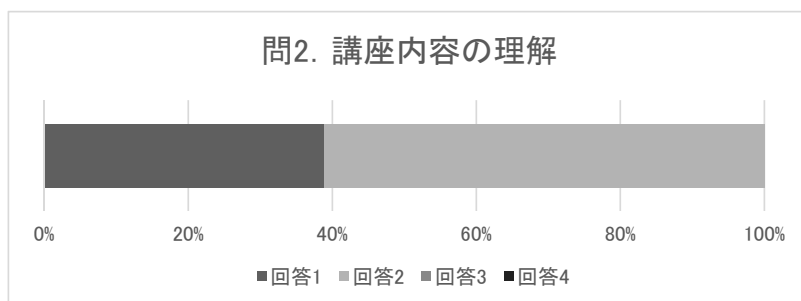


<事後アンケート>

事後アンケートの結果は以下の通りであった。回答したのは1年生31名，2年生3名であった。

問 1	●受講前に期待していた通りの内容でしたか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ選び○で囲んでください。また、その理由も書いてください。			
	1. とても期待通りであった	2. やや期待通りであった	3. あまり期待通りでなかった	4. 全く期待通りでなかった
	【理由】			

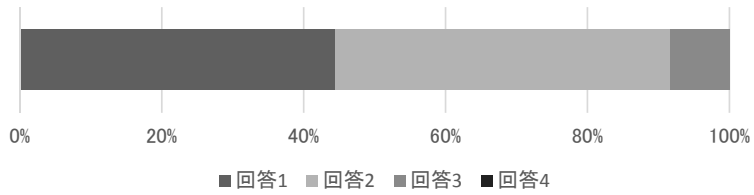
問 2	●講座の内容は理解できましたか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ選び○で囲んでください。			
	1. とても理解できた	2. やや理解できた	3. あまり理解出来なかった	4. 全く理解出来なかった



多くの参加者が講座内容を理解できたと回答した。

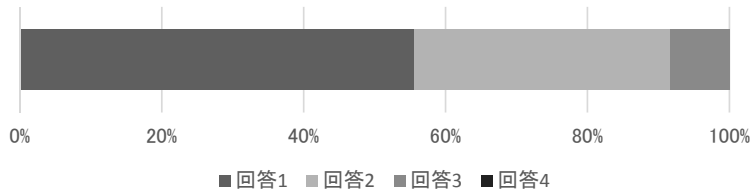
問 3	●この講座を受講したことで、大学での学びへの興味・関心は高まりましたか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ選び○で囲んでください。			
	1. とても高まった	2. やや高まった	3. あまり高まらなかった	4. 全く高まらなかった

問3. 大学での学びへの興味・関心



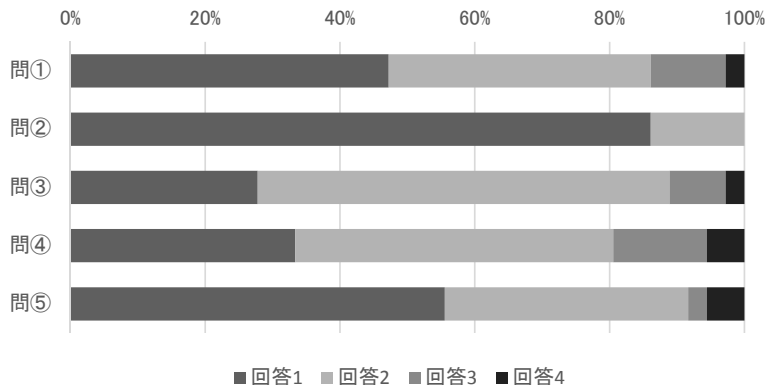
問 4	●この講座に意欲的に取り組むことが出来ましたか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ選び○で囲んでください。			
	1. よく取り組めた	2. やや取り組めた	3. あまり取り組めなかった	4. 全く取り組めなかった

取り組みの意欲

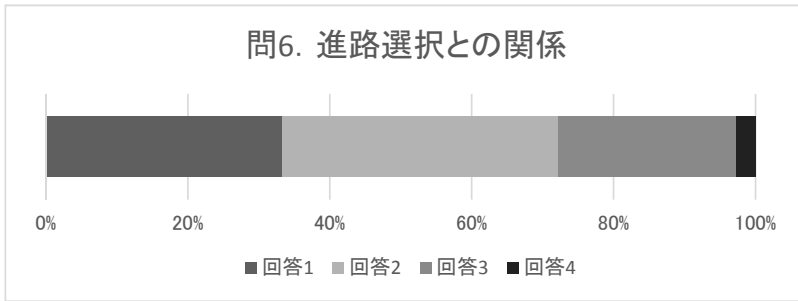


問 5	●この講座を修了して感じたことに当てはまる項目の番号を1つだけ選び○で囲んでください。				
	項目	とても そう思 う	やや そう思 う	あまり そう思 わない	全く そう思 わない
	① こういう学問領域があることを初めて知った	1 2 3 4			
	② 1つの研究には幅広い知識が必要だと思った	1 2 3 4			
	③ 研究の方法を知ることができた	1 2 3 4			
	④ 課題研究を行う際の参考になった	1 2 3 4			
⑤ 高校での学びと大学での学びのつながりについて考えるきっかけになった	1 2 3 4				

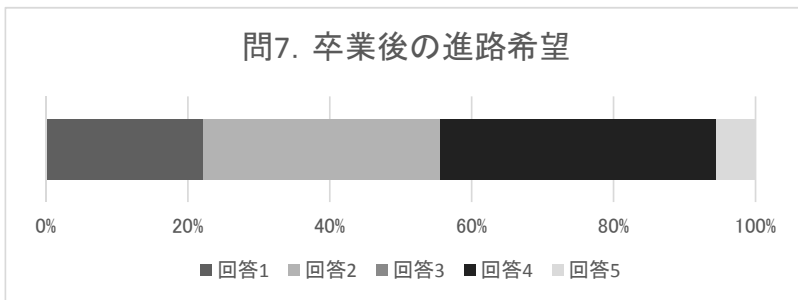
問5. 感想



問 6	●この講座を受講したことは、あなたの将来の進路選択の参考になりましたか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ選び○で囲んでください。また、その理由も書いてください。			
	1. とても参考になった	2. やや参考になった	3. あまり参考にならなかった	4. 全く参考にならなかった



問 7	●高校卒業後どのような進路を志望しますか。以下の選択肢から当てはまる項目の番号を1つだけ選び○で囲んでください。	
	1. 名古屋大学	4. まだ決まっていない
	2. 名古屋大学以外の4年制大学	5. その他 ()
	3. 短期大学・専門学校	
問 8	●受講をきっかけに、自分の将来のために新たに取り組もうと思ったことはありますか。あれば、具体的に書いてください。	

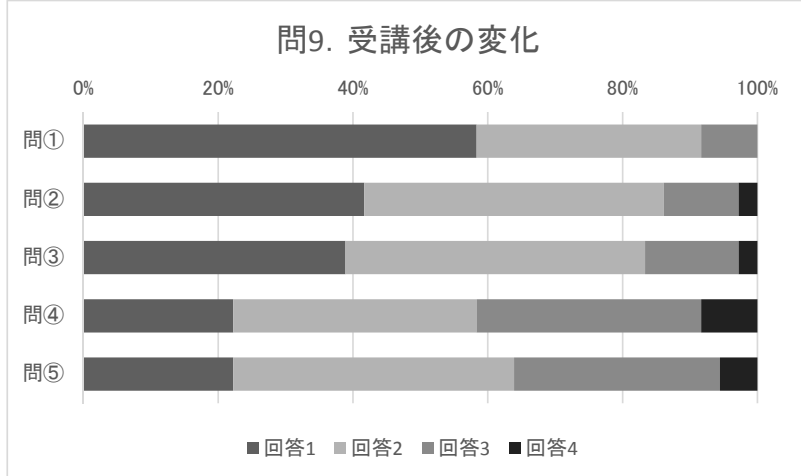


問 8	●受講をきっかけに、自分の将来のために新たに取り組もうと思ったことはありますか。あれば、具体的に書いてください。	

- 将来就きたい職業についてもっと調べる
- 高校の学習ももちろん大切だが、それ以外にも自らの興味のある分野はどんどん学びを深めていこうと思った
- 自分の好きな分野についてとことん探究する
- 夢が明確にもてるようになり、勉強へのやる気が出た

- 気になったことがあったらすぐに調べようと思った
- もっと勉強に力を入れる
- 興味がある分野を調べる
- 自分の夢の選択肢を増やせるような行動をしていきたいと思う
- 興味のあることだけでなく、それ以外の可能性なども考えて色々なことにチャレンジしてみようと思った
- 興味が少しでもわいたことには取り組もうと思った
- もっと本を読んで専門的な部分を知りたいと思った
- うわべだけを理解しないで細かいところまで積極的に調べようと思った
- 大学の色々な学部や研究について調べるようになりました
- 色々なオンラインのイベントに参加しようと思えた
- もっと幅広いことに目を向けること。多様な視点から物を見ること

●受講前と比較したとき、あなた自身の考えや学び方に変化はありますか。あてはまる番号を1つだけ選び○で囲んで下さい。				
項目	とても そう思 う	やや そう思 う	あまり そう思 わない	全く そう思 わない
問9 ①受講前よりも、将来の職業や進路など、自分のことは自分で決めよう意識するようになった	1	2	3	4
②受講前よりも、自分で考えたり、行動したりするようになった	1	2	3	4
③受講前よりも、学習に対して意欲的に取り組めるようになった	1	2	3	4
④受講前よりも、自分の意見を発言できるようになった	1	2	3	4
⑤受講前よりも、うまくいかないことや失敗することがあっても、ねばり強く取り組めるようになった	1	2	3	4
⑥受講前よりも、職業や進路に関心を持つようになった	1	2	3	4



2020年度 学びの杜・学術コース プログラム

	講義テーマ	講師	開講日
第1回	食べ物がどうやって栄養になるか 食べ物が身体に取り込まれる消化吸収のメカニズムと、それが生物にとってもどのような役割を果たすかについて学びます。	小田裕昭先生 (名古屋大学大学院 生命農学研究科)	2020年7月18日 10:00-11:30
第2回	授業の記録や写真から授業を分析すると何がわかるか？ 1枚の写真や1ページの授業の記録から、授業を進める教師の意図やねらいを分析することができます。「参加する」側の生徒の視点から、「実施する」側の教師の視点に切り替えて授業を分析してみましょう。どんな授業の世界が見えてくるでしょうか。	久野弘幸先生 (名古屋大学大学院 教育発達科学研究科)	2020年7月25日 10:30-12:00
第3回	アフリカで生まれた人類が日本人になるまで アフリカで誕生した人類が、いつ、どのように日本列島にやってきたのでしょうか。人類進化史のドラマと日本人の起源の最新事実についてお話します。	門脇誠二先生 (名古屋大学博物館)	2020年7月29日 15:00-16:30
第4回	地域医療とその教育を学ぶ なぜ、地域医療が求められているかをご存知ですか？日本は、世界に先駆けて少子超高齢社会を迎えており、日本の動向に世界が注目しています。少子高齢化の最先端である地域医療の現場では、様々な医療専門職が協力し、日々新しい試みがされています。今回は私たちの取り組みをミニレクチャーやビデオ、そしてクイズで紹介しながら、皆さんと一緒に地域医療の現状やその教育を、考えたいと思います。	岡崎研太郎先生 末松三奈先生 高橋徳幸先生 (名古屋大学大学院 医学系研究科)	2020年8月5日 15:00-16:30
第5回	学校教育から多文化共生の未来を探る グローバル化の進展に伴い、私たちの身近でも異文化に接する機会が増えて久し	内田良先生	2020年8月8日

	<p>くなりまりました。一方で、学校や社会がその変化に対応できていない現実もあります。学校教育のレンズをとおして、多文化共生の可能性を探っていきたいと思います。</p>	<p>服部美奈先生 (名古屋大学院 教育発達科学研究科)</p>	<p>10:30-12:00</p>
第6回	<p>生物多様性 (Biodiversity) 多様性って何だろう 生物多様性を例に、“多様性”の意味を考えます。多様性は守るべきか否かについて、自分自身で考えます。</p>	<p>東田和弘先生 (名古屋大学博物館)</p>	<p>2020年8月29日 10:00-11:30</p>
第7回	<p>ヨーロッパの子どもたちは何をを使って遊び、遊んできたのか？ 歴史上良く知られた教育者たちは、本や言葉を通してだけでなく、子どものための様々な「おもちゃ」を通して自分の考えを世に広めました。この時間はヨーロッパに目を向け、今の時代にも伝わるそうした「おもちゃ」について、写真や動画を使いながら紹介していきます。</p>	<p>江頭智宏先生 (名古屋大学院 教育発達科学研究科)</p>	<p>2020年8月30日 14:45-16:15</p>
第8回	<p>人と人とのつながりから学ぶ心理学 私たちのここところは、自分だけのものなのでしょうか？実際には、ここは多様な人たちのつながりの中で構成されています。この講義では、社会心理学の観点から、つながりのもつさまざまな性質と、つながりの中で生まれるところのあり方について学びます。</p>	<p>五十嵐祐先生 (名古屋大学院 教育発達科学研究科)</p>	<p>2020年9月5日 10:30-12:00</p>
第9回	<p>ところと対人関係 私たちは、日常生活のさまざまな場面で、他者と関わります。皆さんも、誰かに相談したり、相談されたりした経験があると思います。それでは、専門的な関わりとは、どのような行為でしょうか。臨床心理学の観点から、他者のここところを理解する関わり方について考えてみましょう。</p>	<p>狐塚貴博先生 (名古屋大学院 教育発達科学研究科)</p>	<p>2020年9月12日 10:30-12:00</p>
第10回	<p>科学における仮説とその検証 仮説検証は、科学の重要な枠組みです。しかし実際には「仮説」もその「検証」の方法も多様です。この講義では、仮説はどうやって検証するのか？ 仮説はいったん検証されればそれでいい問題はないのか？ 実験によって検証できない仮説はあるのか？ それはどうやって検証するのか？ そもそも仮説検証を行わない科学はあるのか？ それらはどのような科学なのか？ などについて考えます。</p>	<p>大谷尚先生 (名古屋大学院 教育発達科学研究科)</p>	<p>2020年10月24日 10:30-12:00</p>

<p>第 11 回</p>	<p>食と畜産を通してみる世界の姿</p> <p>「食」について考えるとき、どんな農産物、畜産物も日本国内だけで完結させることは難しい。特に「畜産」は深く海外と関わっており、世界情勢に左右されることが多い。そこで、食肉文化、日本の畜産と世界の畜産、世界の食糧問題、国連が定める持続可能な開発目標（SDGs）、農村開発とジェンダーフリー、経済成長などの多くの課題と畜産の関係、100年後の未来に畜産をする意味と必要性、などの今の畜産を取り巻く様々な状況について、広く多面的に情報提供をすることで、食肉、畜産を通して今とこれからの世界の姿を考えてもらいたい。</p>	<p>森田康広先生 （名古屋大学大学院 生命農学研究科）</p>	<p>2020年10月31日 13:30-16:00</p>
---------------	---	--------------------------------------	------------------------------------

